

Cisco Unified Communications Manager DNA バス走査脆弱性

Medium	アドバイザー ID : Cisco-SA-20140710-CVE-2014-3317	CVE-2014-3317
	初公開日 : 2014-07-10 14:13	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 4.0	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCup76314	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Communications Manager ダイヤル番号アナライザ (DNA) の多重アナライザの脆弱性はファイルシステムの任意場所からファイルを削除する認証される、リモート攻撃者可能にする可能性があります。

この脆弱性は、入力に対する不十分な検証に起因します。攻撃者は脆弱なデバイスに巧妙に細工された URL 要求を入れることによってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。

Cisco はセキュリティ通知の脆弱性を確認しました; ただし、ソフトウェア アップデートは利用できません。

この脆弱性を不正利用するために、攻撃者は影響を受けたデバイスに認証する必要があります。このアクセス要件は正常なエクスプロイトの確率を減少させます。

Cisco は CVSS スコアを通してその機能エクスプロイト コード存在を示します; ただし、コードは共用利用可能であると知られていません。

該当製品

顧客は影響を受けた製品バージョンの完全なリストのための Cisco バグ ID [CSCup76314](#) を参照するように勧告されます。

脆弱性のある製品

このアラートが最初に送達された時、Cisco Unified Communications Manager バージョン

10.0(1)は脆弱でした。以降のバージョンはまた脆弱かもしれません。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

管理者は今後のアップデートおよびリリースに関するベンダーに連絡するように助言されます。

管理者は信頼されたユーザだけネットワーク アクセスをアクセスできることを許可するために助言されます。

管理者は特権ユーザだけ管理システムにアクセスすることを許可するために助言されます。

管理者は適切な更新を加えるように助言されます。

修正済みソフトウェア

ソフトウェア アップデートは利用できません。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

URL

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20140710-CVE-2014-3317>

改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	初版リリース	該当なし	Final	2014-Jul-10

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、

当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。